

BusiNest News

2016年が始まりました。
 今年の夏は4年に一度の夏のオリンピックも開催され暑い夏になりそうですね。
 我がBusiNestも昨年4月に本格稼働を開始し新年1月1日より
 創業準備コース4期生として新しい会員の方をお迎えし活動を開始いたしました。
 スタッフ一同、より一層の笑顔、真心で皆さまと共に活動をして参ります。
 本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



交流コーナーが変わります

BusiNest 会員の方どなたでもご利用いただける3階交流コーナーをより一層皆さまが集いやすくなるスペースへと変わりつつあります。交流室入口にソファを置き掲示板も作成しました。会員の方が情報発信したいことがありましたら是非ご活用ください。また、交流室内にミニ図書館を作ります。持出はご遠慮いただきますが交流室での閲覧は可能です。どうぞご活用ください。また1月は毎週火曜日15時～16時交流室設置のTVでビジネス活動に役立つ動画を放映しております。

(堀江 / 記)



東京校ワークショップを開催します

1月30日(土曜)に中小企業大学校東京校交流室にてワークショップ「働き方とことん会議」を開催します。会員の方はもちろん多摩地域にお住まいのサラリーマン、主婦、学生、経営者の皆さまに参加していただき「自分らしい働き方」や「新しい仕事スタイル」などについて皆さんで再発見してみませんか？

(堀江 / 記)



今後の予定

1月予定			
12	火	—	アクセラレーターコース募集開始
19	火	15:00-16:00	EC ビジネス動画放映
26	火	15:00-16:00	EC ビジネス動画放映
27	水	14:30-18:30	模擬プレゼン会 (資金調達編) ①14:30-②15:30-③16:30-④17:30-
30	土	13:30-17:00	ワークショップ「働き方とことん会議」 自分の仕事スタイルを見つけよう

2月予定			
1	月	—	創業準備・新規事業コース (4月1日利用開始) 募集開始
4	木	13:30-18:00	3D プリンターセミナー
19	金	17:00-19:00	3 金会 (交流会)
29	月	—	アクセラレーターコース応募締切
		—	創業準備・新規事業コース応募締切

編集後記
 1月 / 睦月 (むつき)

風物詩と句：初詣、お年玉、成人式、梅、水仙、千両、シクラメン、大根、ブロッコリー、レンコン、春菊、ネギ...

ついに新しい年がやってまいりました。大晦日は何年か振りに紅白を見て、その後のゆく年くる年→年越しカウントダウンコンサートはギエムのボレロで。素晴らしい音楽とバレエ、感動のラストステージを見つ友人と年越しのLINEなどをしながら過ごすというまどきの年明けに、自分も時代に流されて過ぎてしまっているのかなとぼんやりと考えてみた年明けでした。本年も宜しくお願い致します。(koba)

BusiNest

〒207-8515 東京都東大和市桜が丘 2-137-5
 中小企業大学校東京校東大和寮 3階 BusiNest

TEL : 042-565-1195 (ダイヤルイン)

e-mail : businest@smrj.go.jp

担当者：藤間 (ふじま)、堀江 (ほりえ)、相地 (あいち)

Facebook やってます！チェック & いいね！をお願いします。

https://www.facebook.com/smrj.bsuc



“ビジネスのタマゴ”を飛ばたかせる場所。

BusiNest

BusiNestは「すきなこと」でビジネスにチャレンジする方、
 チャレンジしたい方を応援する施設です！

BusiNest 初のお正月



一年の計は元旦にありとは、物事を始めるにあたっては最初に計画を立てることが大事なため、年の初めである元旦に一年の計画を立てましょう、ということです。皆さん今年の計画は立てましたか？ 創業活動は常に物事を始めているようなものです。緻密な一年間の計画までは必要ありませんが、「実行」した後に「検証」できるレベルの「計画」を立てることが創業を実現するために重要なことです。いわゆる「PDCA(計画・実行・検証・改善) サイクル」です。このサイクルをいかに

早く、いかに多く回せるかで創業の実現に近づくとっても過言ではありません。BusiNest パワーも活かしてサイクルをどんどん回していきましょう。本年もよろしくお願いいたします。

(藤間 / 記)



黒板 POP も新年のご挨拶に一刷新しました！

BusiNest アクセラレーター・第2期、1月12日募集開始！



日本初の公的支援機関直営アクセラレーター・プログラムとして昨年10月にスタートしました BusiNest アクセラレーター・第1期も折り返し点に達し、参加チーム一同、3月のファイナル・デモ(最終報告会)に向けて奮闘しております。

さて、そんな BusiNest アクセラレーターも本年4月より第2期を開催することとなりました。第1期同様に、こんな方々を参加対象にしています。

- ①日本全国規模、世界規模への市場拡大を目指す、革新的かつ出口戦略が明確なビジネスプランを有している方

- ②ビジネスプランを実現しようとする強い意志、経験および実績を有している方
 - ③メンターやスタッフ (BusiNest 支援担当者) ほか、様々な人物の助言・指導を誠実に受け入れ、他の利用者とも積極的に交流し、共に学び・高めあう意志・素養を有している方
- 尚、業種は問いません。ICT 関連に限定されません。ものづくり・食品・農業他、あらゆる業種を対象としています。

申込書およびピッチ・面接により、5～8組を選抜します。ビジネスの完成度を問うものではありません。プラン・アイデアのユニークさ、将来性、そして皆さん自身の情熱を評価し、選考しています。

既に、1月12日(火)から募集がスタート、締め切りは2月29日(月)になります。説明会も随時開催しますので BusiNest Facebook ページをチェックして下さい。アクセラレーターに関する詳細は、コースを運営する吉田までお気軽に。皆さまのご応募お待ちしております！ (吉田 / 記)

だよ



BusiNestだよ No.6 Jan 2016
 発行：BusiNest
 発行日：2016年1月15日
<http://businest.smrj.go.jp>

ビジネストからの風景



ビジネスト、はじめてのお正月。あちらこちらで聞こえてくる今年もよろしく〜の声！ 今年には会員の大きな飛躍の年になりますよう、スタッフ一同一丸となって応援してまいります！よろしくお願いたします。 (編集：kobayashi)

2015年、秋のBusiNestは東大和でお祭り騒ぎ！ 産業まつり&福祉まつりで盛りあがりました！

産業まつりを通してたくさんの方にBusiNestを知ってもらうチャンス！
2万6千人の方々にご来場いただき、いろいろな企画で盛り上がりました。

東やまと産業まつり開催



「10月31日・11月1日の二日間わたくし、東やまと産業まつり（主催：東やまと産業まつり実行委員会）が中小企業大学校東京校で行われ、BusiNestの女性会員からなる「ふたばの会」もブース出展しました。この日のために打ち合わせや準備をされた会員の皆様、お疲れ様でした。

「開かれた東京校」の取組の一つとして実施された今年の東やまと産業まつりには、多くの市民の方にも来校していただき、



中小企業大学校東京校とBusiNestを知っていただけたと思います。「初めて中小企業大学校東京校の敷地に足を踏み入れた」という方も多く、「こんな立派な建物があったんですね。」と驚かれる方や、「研修施設って聞きましたけど、いつもはどんなことをやってるんですか？」と質問をされる方もいらっしゃいました。

今年度は市役所庁舎の耐震補強工事を行っている関係で特別に中小企業大学校東京校が会場提供をしたため、今年度限りの開催になる可能性が高いですが、一般市民

の方に知っていただくこのような機会を継続的に設けられたらいいですね。（相地/記）

ゆるきゃらグランプリ報告会

12月22日に、BusiNest セミナールームでゆるキャラグランプリの報告会が開催されました。東大和市のゆるキャラといえば、言わずと知れた「うまべえ」ですが、総合順位94位（ご当地キャラ順位68位、東京都1位）と、ついに二桁に突入しました。報告会では参加者全員でうまべえの躍進に向けた話し合いが行われるなど、さらに上位進出を目指して動き出しており、今後ますますの活躍が期待されます。自治体の



方々のゆるキャラにかけ、「決してゆるくない熱い取り組み」から今後も目が離せません。

（相地/記）

BusiNest スタッフ紹介 CLOSE-UP

小林由美子 Kobayashi Yumiko



自己紹介

東京都板橋区生まれ。現在は地元、東大和市に在住。子育てと仕事を身をもって両立すべく、毎日格闘しています。趣味はモノづくりと言いたいところですが、毎日が忙しすぎて趣味に没頭する時間が取れないです。以前は、洋裁、スタンドグラス、テニス、合唱、などをやっていました。

都立高校を卒業して、専門学校桑沢デザイン研究所リビングデザイン課入学。原宿・渋谷という楽しい街を横目に、課題に追わ

れるという悲しい青春時代を過ごし、ようやく社会人に。アメリカ家電メーカーのデザインルームに勤務。その後、玩具メーカー、ゲームメーカー、広告代理店、出版社、釣り具メーカーを経て独立、フリーランスに。都内の出版社や制作会社で雑誌の立ち上げやパッケージデザイン、展示会・販売促進物作成、新聞紙面作成、撮影コーディネートなどをこなしながら、アナログからデジタル時代へ突入し現在に至ります。無類のMacintosh好き。

最近では、子育てしながらということで、地元の企業さまとの地域密着型の仕事が増え、ますます地元愛が芽生えました。

ビジネストのスタッフになって、新しい出会いやお仕事のスタイルなどに触れていると、いろいろなアイデアがムクムクと湧いてきて大変刺激を受けていると感じています。デザインコーチとしてビジネスにまつわる「デザインの要素」や「疑問・わかりにくいこと」を一緒に考えてサポートしていきます。また、みなさま自身がデザインに関わることに直面したとき、自信を持って対応出来るようになるようコーチングしていきたいと思っています。

最後になりますが、私が仕事をしていてもみなさまに感じていることをお伝えしま



す。デザイン相談の際に、みなさまのお話を伺い、理解して、そこで初めてみなさまの作りたいもの、好きな色、好きな形などがわかります。たくさんのお話の中から、ふわっと降ってくるイメージがとても大切です。それはきっとデザインだけではなく、これから仕事をされていくことの核になるイメージと同じだと思っています。それは書類の中で書ききれない、伝えられない「思い」があるということです。デザイナーとは、それを視覚化して伝えるために存在していると思うのです。ビジネストではそのためのデザインコーチが存在いたしますので、十二分に相談させていただきます。また、私がそうしたみなさまの仕事の一助となれば幸いです。小林由美子

会員さまの“つぶやき”

➡➡ SUPY 株式会社 (代表 浜口 晋 / はまぐち じん) ←←



SUPY 株式会社を2010年8月に創業いたしました。現在6期目のまだまだ新しい企業です。玩具（おもちゃ）の製造をはじめスマートフォンのアプリケーション開発も行っております。昨今のゆるキャラブームの影響もあり、企業や行政のキャラクターをぬいぐるみ等に

商品化するご依頼を多くいただきます。近年IOTと言うキーワードが話題に上がり、ものづくり企業が注目されておりますが弊社では既存の玩具（ぬいぐるみ等）とスマートフォンを組み合わせた新しい形の玩具（欧米を中心にスマートイと呼ばれる商品）の開発も行っております。個人向けではなく法人企業や行政からお仕事の依頼を受けておりますので、弊社の名前が表舞台にで



は東大和が安住の地です。弊社の詳しい情報はGoogleやYahoo!で「SUPY」と検索していただくことができます。ぜひ手元にあるスマホで検索してみてください。

浜口 晋

会員さまの“つぶやき”

➡➡ AKT 技術研究所 (博士 (工学) 阿久津 伸 / あくつ じん) ←←



材料はものづくりの基礎、
結晶は材料の基礎

僕が所長を務めるAKT技術研究所は、「材料科学からものづくりを創造する」をコンセプトに、単結晶製造装置を開発・製造しています。

旧石器時代が石器時代に進化したのは、石という材料があったからです。工業ができたのは、鉄を材料として使うことができたからです。つまり時代を進化させてきたのは材料なのです。そして、その材料のものになるものが結晶です。

しかし、今までその結晶を効率良く作り出す方法がありませんでした。結晶を作れるのはごくわずかな専門家だけで、その専門家に依頼すれば高額な費用がかかり、しかも費用をかける価値のある、純度が高い結晶は作れなかったのです。

新素材開発に単結晶科学は不可欠

でも、僕は材料を扱う者ならば、その基礎である結晶も自分で作れなくては画期的なものづくりはできないと考えています。そこで良質な結晶、しかも単結晶（※コラム「単結晶とは」参照）を、安価に、かつ容易に作れる技術「AKT-アドバンスドペダスタル法（AKT-AP法）」を開発しました。この技術を使えば、素人でも単結晶を作ることができます。

単結晶は最先端の機器に使用されるものです。多くの研究者が単結晶を作れるようになることで、最先端の機器を進化させ、また新たな機器を創り出すことができます。またものづくりの基礎の基礎である結晶づくりの世界を進化させることで、ものづくりの世界そのものを進化させることができます。

単結晶が未来の地球をつくる

単結晶技術はものづくりにおける最先端の技術ではあるものの、ITやIoTなど、今はやりのベンチャービジネスではありません。そのため世間の理解を得るのが難しく、資金を得るのに苦慮しているのが実情です。しかし今年11月には日本政策金融公庫様からの融資を受けることができましたし、都内のあるメーカーの研究室ではこの技術を使った装置の開発が進んでおり、苦

境ながらも事業は着々と進んでいます。

AKT技術研究所はこれからも新たな技術を生み出して材料科学、ものづくりの世界を進化させ、100年後、200年後の地球をつくるビジネスを展開していきます。これまで材料が時代を作ってきたことを考えれば、それは夢物語ではないと思っています。阿久津 伸

コラム

単結晶とは

単結晶とは、どの位置をとっても原子が同じ形で並び続けている結晶のことです。原子の特性は、その周りにある電子が持っています。複数の原子が同じ形、同じ方向を向いていると、電子が持つ特性も同じ方向に一斉に向けられ、その物質が持つ特性が顕著に表れます。例えば、放射線を吸収して発光する特性を持つ物質の場合、単結晶のものはその特性が顕著に表れ、わずかな放射線でも吸収し、発光します。つまり高精度、高感度で放射線を感知して光るため、このような単結晶の物質は放射線測定器などの最先端機器にも利用されています。